

プラネタリーヘルスを目指して

2020年、私は長崎大学の目指すべき新しい目標として「地球の健康(Planetary Health)」を掲げました!

私たちの住む地球は、環境問題一つとっても、危機的な状況にあります。プラネタリーヘルスが脅かされているのです。その原因は、グローバルな視点では、17歳のグレタ・トゥーンベリさんが訴えている環境問題や、国際紛争などの政治問題、ローカルな視点では、高齢化や人口減少、経済格差、教育問題などにあります。これらは複雑に絡み合い、直接的あるいは間接的に地球の健康を冒しています。

長崎大学の10学部では、プラネタリーヘルスの実現に向けて、従来の活動を進化させようとしています。

環境科学部は環境の変化に対応する能力を、工学部は未来を開く科学技術の創造を、医学部・歯学部・薬学部はグローバルヘルスの実現を、水産学部は海洋資源の適切な管理と利用を、経済学部は企

業活動、経済、寛容、公正・公平の調和を、教育学部は困難な課題に果敢に挑戦する勇気を持った子どもを育てられる人材の育成を、多文化社会学部は言語的・文化的背景を異にする人々との協働を、情報データ科学部はビッグデータやAIなど多

様な分野に適用可能な課題解決に係る手法の構築を、教育と研究を通じて実現します。もちろん、7研究科も同様です。

人類の健康を地球規模で考えるグローバルヘルスから、地球そのものの健康を考えるプラネタリーヘルスへ、長崎大学はより進化した教育・

研究・社会貢献を目指します。地球の健康がこれ以上脅かされれば、人類の存在自体が危ぶまれます。私は、この危機を乗り越えるための教育と研究に、若い皆さんと共に邁進したいと考えています。長崎で学び、自然や社会が調和し、地球が持続的な発展を遂げるためのイノベーションに挑戦しましょう。



河野 茂

CONTENTS

長崎大学広報誌
[チョーホー]
Choho Vol.71

本誌記事を長崎大学関係者が転載する場合は、「長崎大学広報誌 Choho vol.〇から」と明記してください。学外の方は、事前に広報戦略本部までご連絡願います。なお、「グラバー図譜」「研究最前線」コーナーについては一切の引用および転載を禁止しております。

学長室だより	プラネタリーヘルスを目指して	1	表紙のはなし 今回の表紙は、大学生活を過ごした長崎の町を背景に新たなフィールドへ旅立つ気持ちを表現。特集にも登場してくれた卒業生の鐘ヶ江健太さん、川井沙那子さん、江崎真典さんをモデルに、買い物客で賑わう浜町で撮影しました。この日が初対面だった3人は、少し照れながらも素敵な表情を見せてくれました。
特集	卒業生が語る長崎大学での学び	2	
学長対談	産業・行政・大学の連携で地方から国を興す	13	
研究最前線	海洋マイクロプラスチック消失現象の解明と回収 中谷久之	17	
グラバー図譜	ホソトビウオ／山口敦子	19	
Information	公開講座情報 クイズ&編集後記	21	